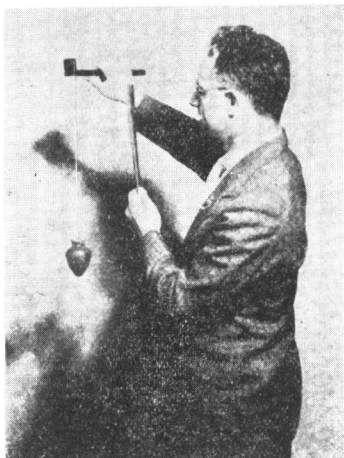


二つの古時計

(1) トウタンカメン王の時刻観測器

昨1933年 6月20日、自分は滞米中、シカゴ大學の東洋博物館で 近頃發掘し



た Tutankamen 王の時刻観測器といふのを見た。之れは一本の鉛直線を主要部とするものであるが、しかし、何しろ大昔しの遺物であるから、下げ糸などは消え失せて、貝、柄と重垂のみが残されてある。想像するに、昔しエジプトの Tutankamen 王庭では、此の寫眞のやうにして、天文學者が正しい子午線を通過する星の時刻を観測したものらしい。

(山本)

(2) テシビオスの水時計

水時計は CLEPSYDRA といひ、古代ギリシャ、ローマ時代に盛んに用ゐられたと傳へられるが、もつと大昔しエジプトで發明されたもので、其れをギリシャ人が歐洲に輸入したのだといふ。此の Clepsydra の語意は κλεψιδρα (盗む)と υδωρ (水)との二つを合せたものである。我が國でも千有餘年前に天智天皇が御作りになつたものも即ち「水時計」であつた。

